

めざす子ども像		相手の思いや立場を理解し、優しく接することができる児童			
学年・学期における探究課題		《大江の福祉、自分発見》			
単元名		幼稚園の子どもたちと交流しよう（全１８時間＝実施時期：６月～２月）			
単元のねらい		大江町に住む幼稚園の子どもたちに出逢うことを通して、幼稚園の子どもたちと一緒に楽しめる活動を考えたり実際に活動したりすることで、大江町の福祉について知り、自分の疑問や関心から課題を設定し、目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり必要な情報を選んだりし、相手や目的に応じて工夫してまとめ、表現する力を育てるとともに、対象についての探求的な学習に主体的・協働的に取り組み、互いのよさを生かしながら自ら進んで地域社会に関わろうとする態度を育てる。			
		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		大江町に住む幼稚園の子どもたちと一緒に、どんなことができるかを考え、課題を設定する。	幼稚園の先生や子どもたちに、どんなことをしてみたいか聞いたり、インターネットなどで調べたりする。	聞いたことをもとに、どのようなことができるかを考え、何をするか計画を立てる。	幼稚園の子どもたちを楽しんでもらえるよう工夫して準備をし、学校に招待して交流して、まとめる。
仕掛け・工夫	もの		運動会・学習発表会	Googleミート	
	ひと	幼稚園児 幼稚園の先生	幼稚園児 幼稚園の先生	幼稚園児 幼稚園の先生	幼稚園児 幼稚園の先生
	しごと （こと）	幼稚園で働く先生たちの仕事について知る	幼稚園の先生に話を聞く。		
	その他				
引き出した姿	いばら愛 （郷土愛と当事者性）	大江幼稚園の子どもたちを楽しませる。かかわりのなかった相手のことを知ろうとする。	前回の交流を振り返って、楽しませる方法を考える。	幼稚園児と交流し、自分たちが考えたアイデアや行動のよさ、改善した方がよい点などを見付ける。	気づきや反省を生かし、次の交流をより良いものにしようという意欲をもつ。
	やり抜く力 （向上心と忍耐力）	前回の交流よりももっと楽しんでもらいたいという気持ちをもつ。	得られた情報を生かし、自分たちのアイデアをよりよく実現するために話し合い、準備する。	より良い交流にするために、どんな準備や動き、声掛けが必要か考え、行動しようとする。	交流のまとめをし、幼稚園の先生から感想を聞く。
	まき込む力 （発信力と協働性）		幼稚園の先生や家族に聞くなどして、より良い交流にしようとする。	友達と相談し協働して、準備、実践しようとする。	幼稚園児や幼稚園の先生に、自分の気持ちや学んだことを伝えようとする。
アウトプットの工夫					

◆ 実際に関連付けた教科・領域、学校行事等

運動会
学習発表会
国語「伝わる表現を選ぼう」

◆ 実際に連携・接続・交流した他学年、他校（園）種、外部団体等

来年度、入学してくる子への声掛け（大江幼稚園児以外の子へも学びを生かして）

◆単元のねらい「大江町の幼稚園の子どもたちと交流する中で、大江の福祉について知り、互いのよさを生かしながら自分事として進んで地域社会にかかわろうとする態度を育てる。」

課題設定

来年度に向け大江幼稚園との交流に意欲をもち、楽しく交流しようというめあてをつかむ。



幼稚園児ともっとなかよくなろうというめあてをつかむ。



入学を目前にした幼稚園児の気持ちから大江小を好きになるような交流にしようというめあてをつかむ。



情報収集

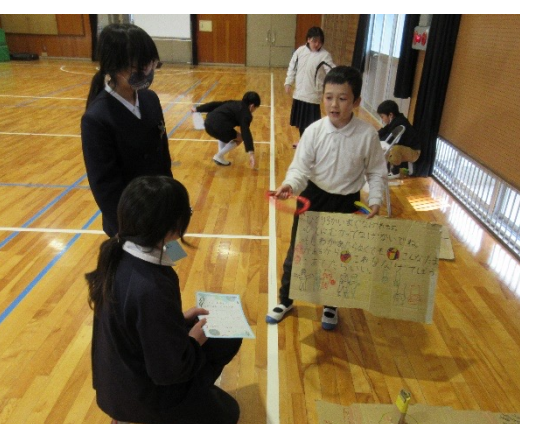
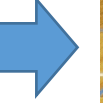
幼稚園の先生からの情報などから交流の計画を立てる。



前回の交流の振り返りを共有し、改善点を見出すとともに幼稚園の先生や家族からの情報もふまえて交流の計画を立てる。



自分たちが考えたアイデアを実現するために必要な情報を先生やインターネット、友達などから情報収集し、計画準備に生かす。



整理・分析

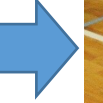
幼稚園児と交流し、園児の実態や自分たちのことを知る。



幼稚園児と交流し、自分たちが考えたアイデアや行動のよさ、改善した方がよい点などを見付ける。



幼稚園児と交流し、自分たちが考えたアイデアや行動のよさ、改善した方がよい点などを見付ける。



まとめ・表現

幼稚園児との交流をふり振り返り、どのような活動や声掛け、行動が望ましいか考える。



自分たちが考えたアイデアや行動のよさ、改善した方がよい点などを共有する。



交流をふり返ったり、幼稚園の先生や活動を見て下さった先生から気づきを伝えてもらったりする中で、自分たちが考えた取り組みの良さやがんばり、成長に気付くことができるようにする。



◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

○回を重ねるごとに、幼稚園児の思いや願いを大切にしようとする意識が高まった。自分たちのアイデアを生かそうと主体的協働的に計画準備をする姿が見られるようになった。
△
☆学期に一度交流があり、回数を重ねるごとにスムーズに交流できたので継続していきたい。